

15-3 知覚過敏の処置



ティースメイト®
ディセンシタイザー

通法にしたがい歯面を清掃します。患部の唾液、プラークは綿球等で拭き取り、過剰に付着したプラーク、ステインは、歯面研磨剤等で清掃します。

乾燥の必要なし

1 液材採取、粉材採取、混和^{※1}

15秒以上混和



標準粉液比

	液材	粉材
1歯分	1滴	計量スプーン 小1杯
2~3歯分	2滴	計量スプーン 大1杯

2 ペーストのこすり塗り

一歯当たり30秒以上こすり塗り



3 水洗^{※2}



4 効果の確認^{※3}



POINT

- ※1 液材は容器を垂直に立てること。粉材は採取前に容器を軽く振り、内蓋でこすり切ること。
- ※2 余剰ペーストを水洗又はうがい等で取り除きます。
- ※3 知覚過敏症状が消退していない場合は、**2**、**3**を繰り返してください。

本術式は「ティースメイト® ディセンシタイザー」電子添文等記載の「歯ブラシ磨耗、歯肉後退、歯周炎、歯牙酸蝕等によって露出した象牙質の処置」「機械的歯面清掃、スケーリング、ルートプレーニング後の象牙質の処置」「漂白処置後の歯面の処置」を示します。